

■シラバス

授業の目標 Course Objectives

1. リハビリテーション看護の概念やその特徴を理解する
2. 疾病や障がいによって生じる生活上の困難さを理解し、そのアセスメント方法を学ぶ
3. 生活の再構築に向けた具体的な看護支援について学ぶ

到達目標 Course Goals

1. リハビリテーション看護の対象となる人々や看護の概念について説明できる
2. 疾病や障がいによって生じる生活上の困難さを理解し、アセスメントすることができる
3. 生活の再構築に向けた具体的な看護支援について説明できる

授業計画 Course Schedule

- 1回 90分、7回の講義または演習を行う
- 1-2. リハビリテーション看護における重要な概念について学ぶ
- ・リハビリテーションの概念とは
 - ・リハビリテーション看護におけるセルフケアとは
 - ・障害受容と疾病認識とは
 - ・リハビリテーション看護における生活の再構築とは
- 3-7. 疾病や障がいによって生活上の困難さを生じている人への具体的な看護支援について事例を通して学ぶ
- ・運動機能障害のある人への看護支援
 - ・排泄障害のある人への看護支援
 - ・嚥下障害のある人への看護支援
 - ・認知機能障害のある人への看護支援

成績評価の基準と方法 Grading System

1. 出席率は80%を求める
2. 講義および演習の出席および参加状況、レポートの総合評価とする

■授業の取組・工夫等について

① 授業の目的・内容

本科目は、疾病や障がいによって、その人らしく生きることが困難になっている人々に対する看護の役割やアセスメント方法、また具体的な看護支援について学習しています。

内容は、2コマ連続の集中講義で、講義＋演習を組み合わせたプログラム構成にしています。

講義では、リハビリテーション看護における重要な概念だけではなく、専門的な知識や技術が、実際にどのような事例にどのように提供されているのかを明示しながら、展開しています。

演習では、廃用症候群を予防するための起居動作や、摂食・嚥下障害のある人への食事支援について、実技的な演習をしています。開講時期が1年間の看護学実習をほぼ体験しているため、学生が自分自身の看護実践に引きつけて考え、統合できるように目指しています。

実際の授業では、遷延性意識障害患者に対する看護の取り組みを放映したVTRを視聴することから、自分の看護実践や看護観に引きつけて考えるように促し、学びを共有化することで新たな視点を発見し、深められています。

また、学生がリハビリテーションを必要とする患者への看護計画とその根拠をレポー

トすることで、情報収集や整理、クリティークといった能力の開発を目指しています。さらに、そのレポートを材料にして、グループでより良い看護計画を立案し、ロールプレイスタイルで発表しています。

② 授業実施上の取り組み・工夫

特に、工夫している点は、専門的な知識や技術と看護実践を統合するという看護の志向性を、学生自身が身につけることを心がけています。また、少人数教育の利点を生かし、学生の意欲や積極性を促し、学生自身が能動的に参加する授業形態を考え、以下の点を工夫しています。

■ 学習者のレディネスを高める工夫

討議する前に、学生自身が事前準備できるように、早めに課題を提示し、考えをまとめる時間を確保するように心掛けています。

■ 双方向型授業の工夫

ディスカッションやグループワークでは、発表内容については、明らかに誤解している事柄以外はあまり口を挟まず、発表者と聴講者双方の理解が深まることを目指します。担当教員は、議論から看護の本質を見極められるように、話し合いをファシリテートしています。

③ その他

脳神経外科看護の豊富な臨床経験をもつ林裕子准教授の協力を得て、慢性疾患看護専門看護師である私自身も具体的で多くの事例を提示しながら、講義や演習を組み立てているので、学生自身が臨床をイメージしやすいのではないかと考えております。

■ 学生の自由意見（良かったと思う点）

- ・ 事例の紹介を多くしてくれたので、臨床をイメージしやすくて良かったです。技術演習も、実際の患者さんの気持ちを少し理解できたような気がします。
- ・ リハビリをどう捉えるのか違う視点で考えることの大切さを学んだ。現場で忘れられがちな考え方と感じました。
- ・ 実際病院で行われていることをビデオでみることができた点。
- ・ 演習を通して学べることが多くて良かったです。頭での理解と、実際に行動した時の理解や問題にギャップがあることがわかりました。
- ・ 非常に面白く勉強になりました。
- ・ 実際に支援を行う際の方法や工夫点を多く知ることができました。また、多くの事例を通して実践的に学ぶことができました。
- ・ 積極的に学生が考えることができるような授業だったことや、とても興味深い話が授業でされていたことが良かったです。
- ・ 新しい看護の視点とVTR。
- ・ 実際の臨床での様子や先生の熱意がとても伝わってきて、やる気になる講義でした。
- ・ 新たな視点を得た。
- ・ 実技演習なども取り入れ、セルフケア・リハビリテーション看護を行う必要のある対象者に対する援助について、すぐわかりやすく学ぶことができたと思います。
- ・ 理論だけではなく実際の事例を紹介しながら講義を進めて頂いたのもとても理解しやすく、興味をもって話を聞くことができた。グループワークの数も適切で学生間の意見交換もできて良かった。
- ・ 内容が理解しやすく、興味をもって聴くことができました。